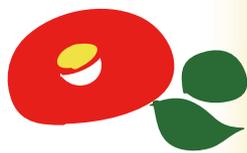


大声出して
元気いっぱい！



第4回

ワクワク講談塾

シリーズ ≪深掘りしよう日本の文化！ ≫ 言葉と表現 ≫

オトナ霞が関塾

ここならではの知識・教養に出会える

●出演

講談師

神田京子

平成30年3月7日(水)

18:30 ~ 19:30 (18:00 OPEN)



講談(講釈とも)とは、400年以上前から始まった伝統話芸。そのルーツは様々で一つは太平記読み、一つは節談説教。次第に寄席演芸として発展した。張り扇(はりおうぎ)でパンパン釈台(しゃくだい)という文机のようなものを叩いてリズムを取りながら物語を進める一人話芸。その昔は釈台の上に本を置いていたが現在は置かないのが一般的。張り扇を叩くタイミングは、句読点や場面転換を表す時など。落語と違ってオチはないが、クライマックスに向けて、くすぐり(笑いの要素)を取り入れながら緩急をつけ、面白可笑しく勇ましく、時にせつなく情感を込めて読む(講談は語るとは言わない)。落語は登場人物のセリフの演じ分けで物語が進んで行くが、講談はストーリーテラーの立場を崩さず、基本的には地の文(ト書き)で物語を進める。

●場所 文部科学省「情報ひろばラウンジ」【旧文部省庁舎1階】
東京都千代田区霞が関3-2-2

●入場無料(事前申込不要)

●主催 文化庁/霞が関コモンゲート管理組合/新日鉄興和不動産株式会社

●お問合せ先 文化庁 長官官房政策課 文化広報・地域連携室 [TEL] 03-5253-4111 内線(2810)



かんだ きょうこ

講談師

神田京子

岐阜県美濃市出身。日本大学芸術学部放送学科卒業。

在学中の平成11年二代目神田山陽(かんださんよう)に入門。他界後、神田陽子(かんだようこ)に師事。平成26年真打昇進。都内の寄席、講談会に出演の傍ら、独演会・地方公演・海外公演・他ジャンルとのコラボレーションなど積極的に展開。コラボ企画の依頼は年々増え、「講談+α」の可能性を拓けている。日本講談協会、公益社団法人落語芸術協会に所属。

文化庁短編映画「敬語おもしろ相談室」御案内役。

大規模被災地にて夫の詩人・桑原滝弥と「詩と講談 夫婦幸福ライブ」を継続的に開催。

2016年一児の母となる。長良川鉄道広報大使。

<最近のコラボ企画>

2017年

2月北とびあドームホール「真冬の怪 Dome」

8月兵庫県西宮市プレラホール「講談×オーケストラ YU-GI」

11月内幸町ホール「話芸舞台 残り者」

7月放送 NHK・BS プレミアム「新BS 日本のうた 島津亜矢スペシャルステージ」

2018年

1月カメリアホール「和っしょい 其の七」

1月 府中バルトホール「親と子の年のはじめのコンサート」

2月 牛込笹筥区民ホール「Orquesta Libre plays 三文オペラ」等

<テレビ・ラジオ出演>

NHK 総合「演芸図鑑」

NHKE テレ「趣味悠々 フォト五七五」

NHK ラジオ第一「日曜バラエティ」

NHK ラジオ第一「新春おめでた文芸」

東海ラジオ「よみがえる話芸 節談説教(ふしだんせっきょう)」ナレーション案内役

(2012年度文化庁芸術祭ラジオ部門大賞受賞、第39回放送文化基金賞本賞受賞)等

<講談ワークショップ>

名古屋・栄中日文化センター(一般向け)

NHK カルチャー名古屋教室(一般向け)

内閣府主催「第19回世界青年の船」(14カ国の青年向け)

東日本大震災被災地 仮設集会所(一般向け)

熊本地震被災地 仮設集会所(一般向け)

文化芸術による子供の育成事業派遣(小学校向け) 等